

4 職業について

4-1 職場における休暇取得環境

問6. 現在、働いている方のみお答えください。あなたの職場では、有給休暇や育児休業などを取りやすい環境にありますか。(〇はそれぞれ1つつ)

【全体】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせると、『有給休暇』が30.3%と最も多く、次いで『育児休業』が22.6%、『介護休業』が15.8%となっています。

なお、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせると、『有給休暇』が24.9%、『介護休業』が18.1%、『育児休業』が17.2%となっており、有給休暇及び育児休業は取りやすいと回答した方のほうが多くなっていますが、介護休業は取りにくいと回答した方のほうが多くなっています。

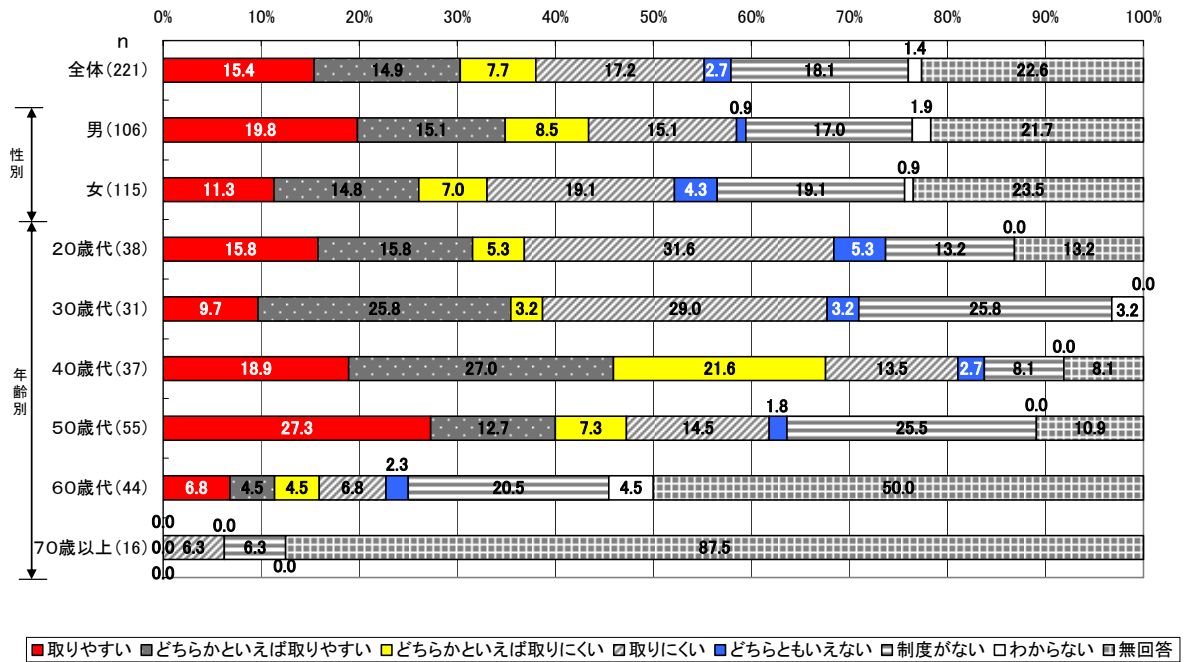
【性別】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」について見ると、『有給休暇』は、男性が合わせて34.9%、女性が26.1%と、男性のほうが有給休暇を取りやすい環境にあることがうかがえます。『育児休業』は、男性が19.9%、女性は25.2%と、女性のほうが育児休業を取りやすいことがうかがえます。『介護休業』は、男性が16.0%、女性が15.6%とほぼ同割合となっています。

【年齢別】

30歳代では、いずれの休暇種別においても「制度がない」と回答した方の割合が他の年齢層より高くなっています。これについて、30歳代は、他の年齢層に比べ「正社員・正職員」の割合が低くなっている一方「パート・アルバイト」の割合が高くなっていることから、このような状況になっているのではないかと推察されます。

1. 有給休暇



【全体】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせると 30.3%、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせると 24.9%となっており、有給休暇については取りやすいと回答した方のほうが多くなっています。

【性別】

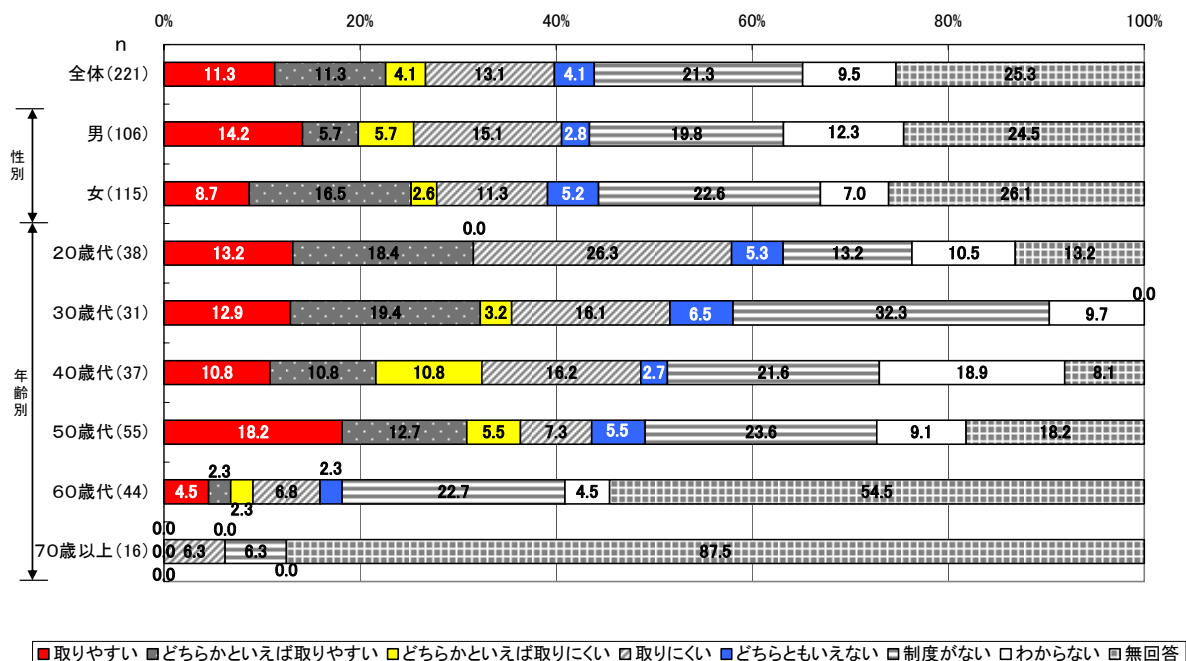
「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせると、男性は 34.9%、女性は 26.1%となっています。一方、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせると、男性は 23.6%、女性は 26.1%となっています。したがって、有給休暇について、男性は取りやすいと回答した方のほうが多くなっていますが、女性は取りやすいと回答した方と取りにくいと回答した方が同数となっています。

【年齢別】

30歳代～50歳代は取りやすいと回答した方のほうが多くなっていますが、20歳代では取りにくいと回答した方のほうが多くなっており、年齢層が低いほど有給休暇が取りにくい傾向になっています。

なお、20歳代及び30歳代は、「取りにくい」と回答した方の割合が 31.6%、29.0%と、他の年齢層に比べ高くなっています。

2. 育児休業



【全体】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせると22.6%、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせると17.2%となっており、育児休業については取りやすいと回答した方のほうが多くなっています。

【性別】

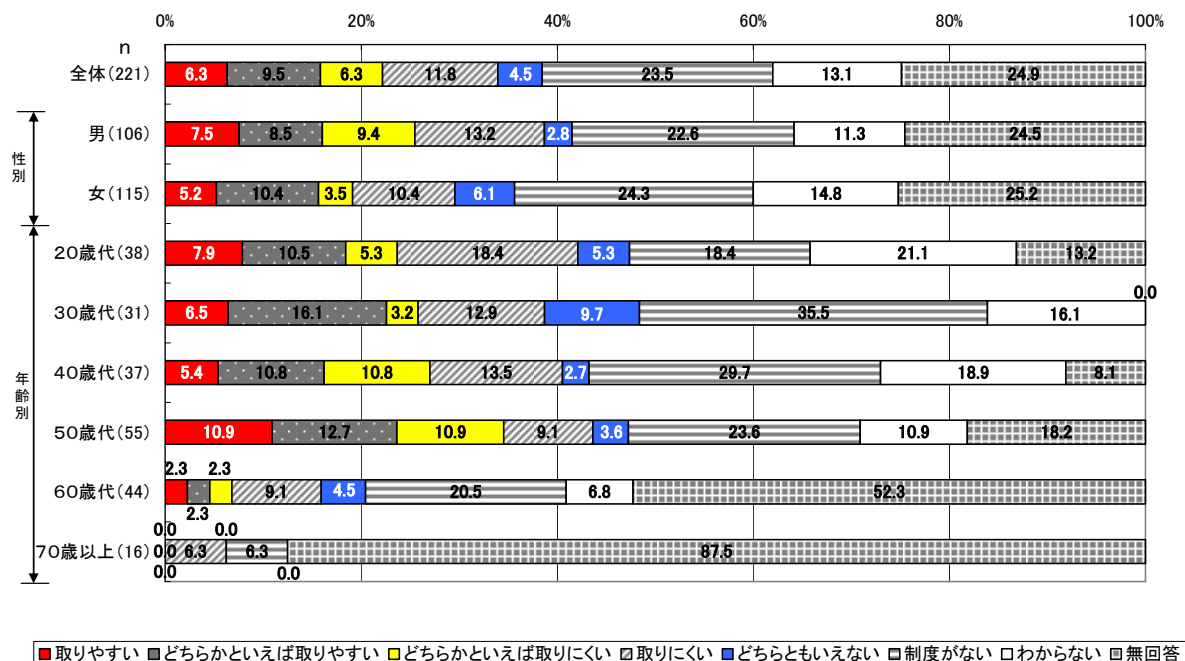
「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせると、男性は19.9%、女性は25.2%となっています。一方、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせると、男性は20.8%、女性は13.9%となっています。したがって、育児休業について、女性は取りやすいと回答した方のほうが多くなっていますが、男性は取りにくいと回答した方のほうがやや多くなっています。

【年齢別】

20歳代、30歳代及び50歳代は取りやすいと回答した方のほうが多くなっていますが、40歳代では取りにくいと回答した方のほうが多くなっています。

なお、20歳代では、「取りにくい」とした割合が26.3%と、他の年齢層に比べ特に高くなっています。

3. 介護休業



【全体】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせると15.8%、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせると18.1%となっており、育児休業については取りにくいと回答した方のほうがやや多くなっています。

【性別】

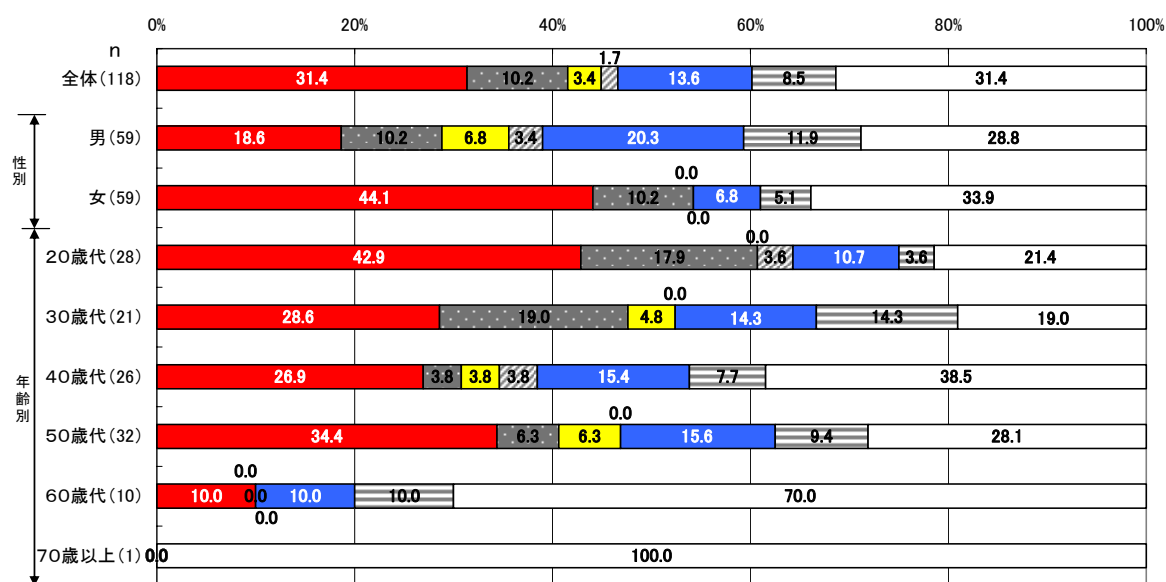
「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせると、男性は16.0%、女性は15.6%となっています。一方、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせると、男性は22.6%、女性は13.7%となっています。したがって、介護休業について、女性は取りやすいと回答した方のほうがやや多くなっていますが、男性は取りにくいと回答した方のほうがやや多くなっています。

【年齢別】

30歳代及び50歳代は取りやすいと回答した方のほうがやや多くなっていますが、20歳代及び40歳代は取りにくいと回答した方のほうが多くなっており、年齢層により回答結果が分かれています。

4-2 育児休業の取得

問7. 現在、働いている方で職場に育児休業制度がある方のみお答えください。あなたは、機会があれば育児休業を取りたいと思いますか。(〇は1つ)



■ 1. 取りたい ■ 2. どちらかといえば取りたい ■ 3. どちらかといえば取りたくない ■ 4. 取りたくない ■ 5. どちらともいえない ■ 6. わからない □ 無回答

【全体】

「取りたい」「どちらかといえば取りたい」を合わせると41.6%、「取りたくない」「どちらかといえば取りたくない」を合わせると5.1%となっており、育児休業は取りたいと回答した方のほうが多くなっています。

【性別】

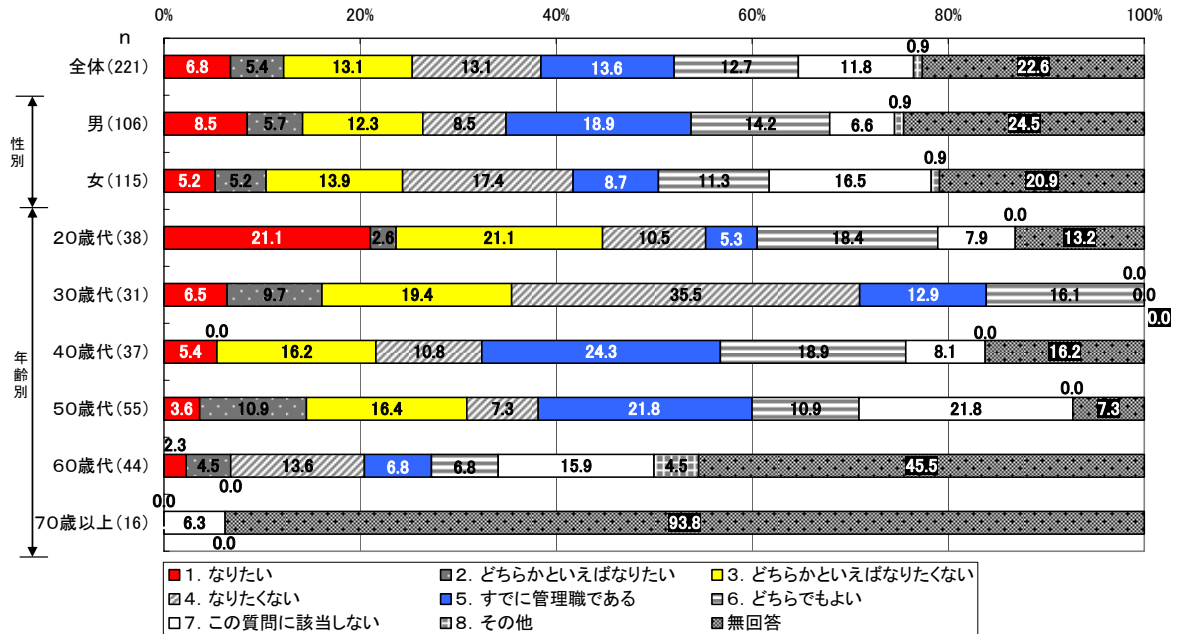
「取りたい」「どちらかといえば取りたい」を合わせると、男性は28.8%、女性は54.3%となっています。一方、「取りたくない」「どちらかといえば取りたくない」を合わせると男性は10.2%、女性は0.0%となっており、男性より女性のほうが育児休業の取得を望む方が多くなっています。

【年齢別】

「取りたい」「どちらかといえば取りたい」を合わせると、20歳代が60.8%、30歳代が47.6%、40歳代が30.7%となっており、年齢層が低いほど育児休業の取得を望む方が多くなっています。

4-3 管理職への就任願望

問8. 現在、働いている方のみお答えください。あなたは機会があれば管理職になりたいと思いますか。(〇は1つ)



【全体】

「なりたい」「どちらかといえばなりたい」を合わせると12.2%、「なりたくない」「どちらかといえばなりたくない」を合わせると26.2%となっており、管理職になりたくないと思う方のほうが多くなっています。

【性別】

「なりたい」「どちらかといえばなりたい」を合わせると、男性は14.2%、女性は10.4%となっています。

一方、「なりたくない」「どちらかといえばなりたくない」を合わせると男性は20.8%、女性は31.3%となっており、男女とも管理職になりたくないと思う方のほうが多くなっていますが、管理職になりたいと思う方となりたくないと思う方のポイント差は男性より女性のほうが大きくなっています。

また、「すでに管理職である」と回答した方は男性が18.9%であるのに対し、女性は8.7%と、男性の半分以下となっています。

【年齢別】

「なりたい」「どちらかといえばなりたい」を合わせると、20歳代が23.7%と最も多く、30歳代が16.2%、50歳代が14.5%、60歳代が6.8%、40歳代が5.4%となっています。

一方、「なりたくない」「どちらかといえばなりたくない」を合わせると30歳代が54.9%と最も多く、20歳代が31.6%、40歳代が27.0%、50歳代が23.7%、60歳代が13.6%となっています。

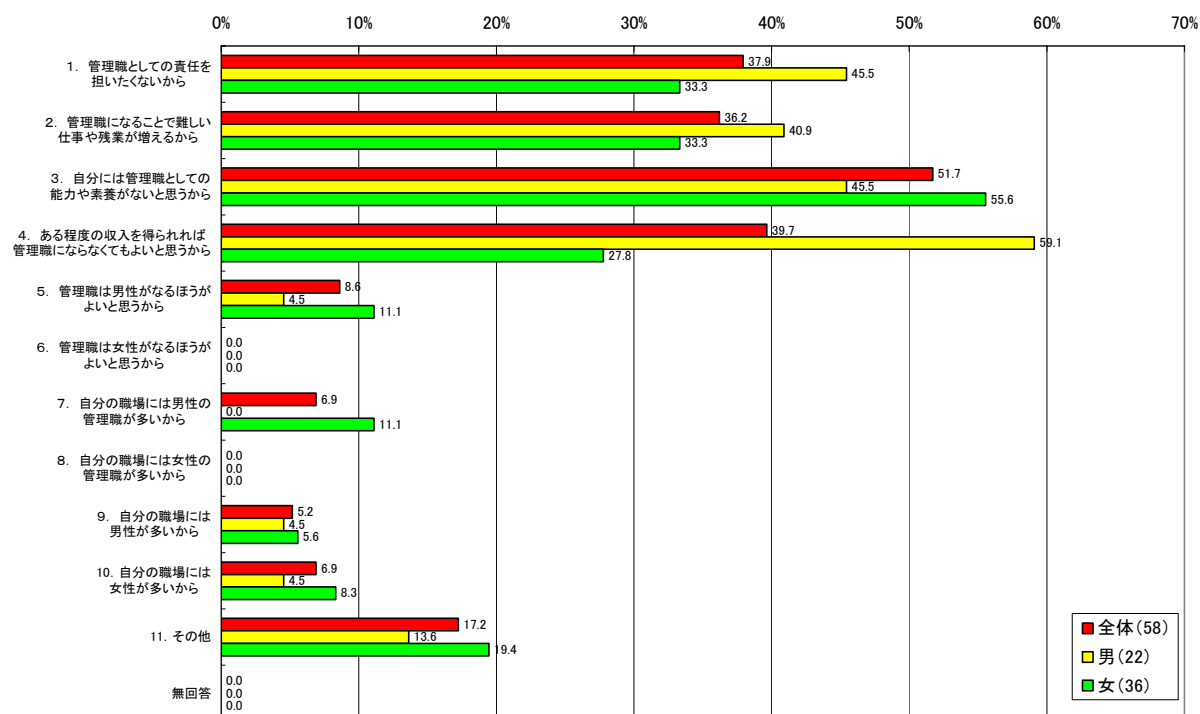
したがって、いずれの年齢層においても管理職になりたくないと思う方のほうが多くなっています。なお、30歳代及び40歳代においては、管理職になりたいと思う方とやりたくないと思う方のポイント差が顕著となっています。

4-4 管理職になりたくない理由

問8-1. 問8で「3」または「4」に〇をご記入した方のみお答えください。管理職になりたくない理由は何ですか。(〇は3つまで)

【全体】

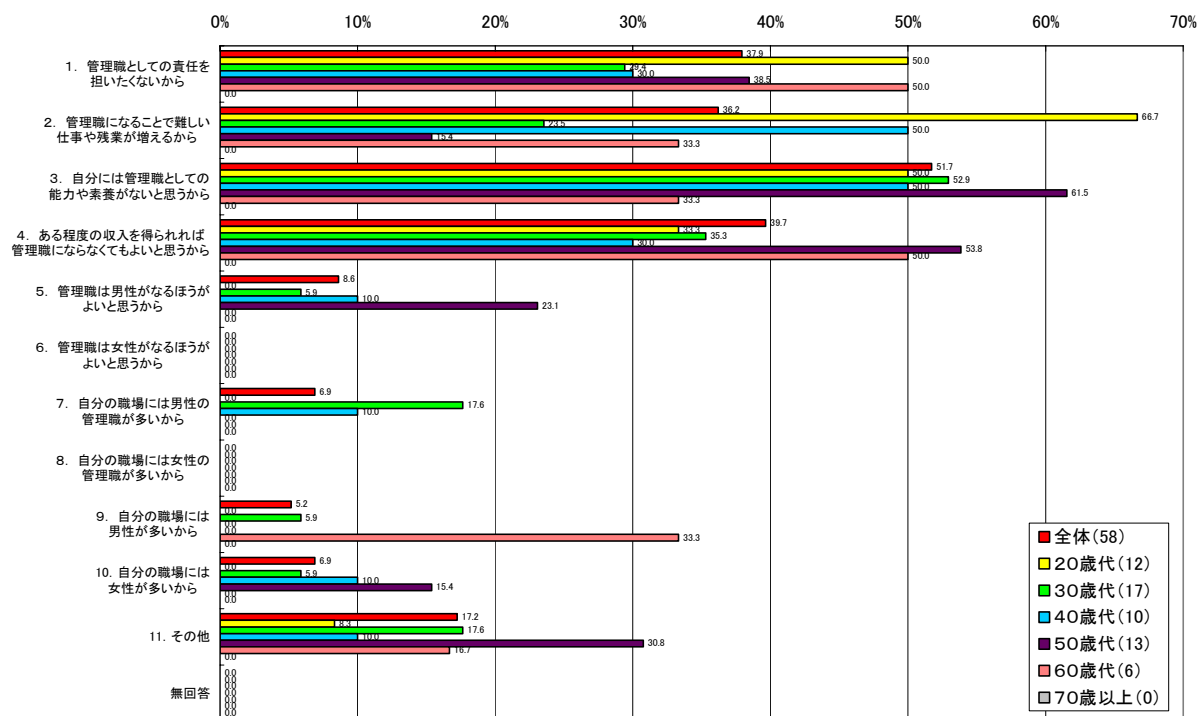
「自分には管理職としての能力や素養がないと思うから」(51.7%)という理由が5割強を占め最も多く、次いで、「ある程度の収入を得られれば管理職にならなくてもよいと思うから」(39.7%)、「管理職としての責任を担いたくないから」(37.9%)、「管理職になることで難しい仕事や残業が増えるから」(36.2%)という理由が多くなっています。



【性別】

男性は、「ある程度の収入を得られれば管理職にならなくてもよいと思うから」(59.1%)という理由が6割弱を占め最も多く、次いで「管理職としての責任を担いたくないから」(45.5%)、「自分には管理職としての能力や素養がないと思うから」(同)という理由が多くなっています。

女性は、「自分には管理職としての能力や素養がないと思うから」(55.6%)という理由が5割を超え最も多く、次いで「管理職としての責任を担いたくないから」(33.3%)、「管理職になることで難しい仕事や残業が増えるから」(同)という理由がそれぞれ3分の1を占め多くなっています。

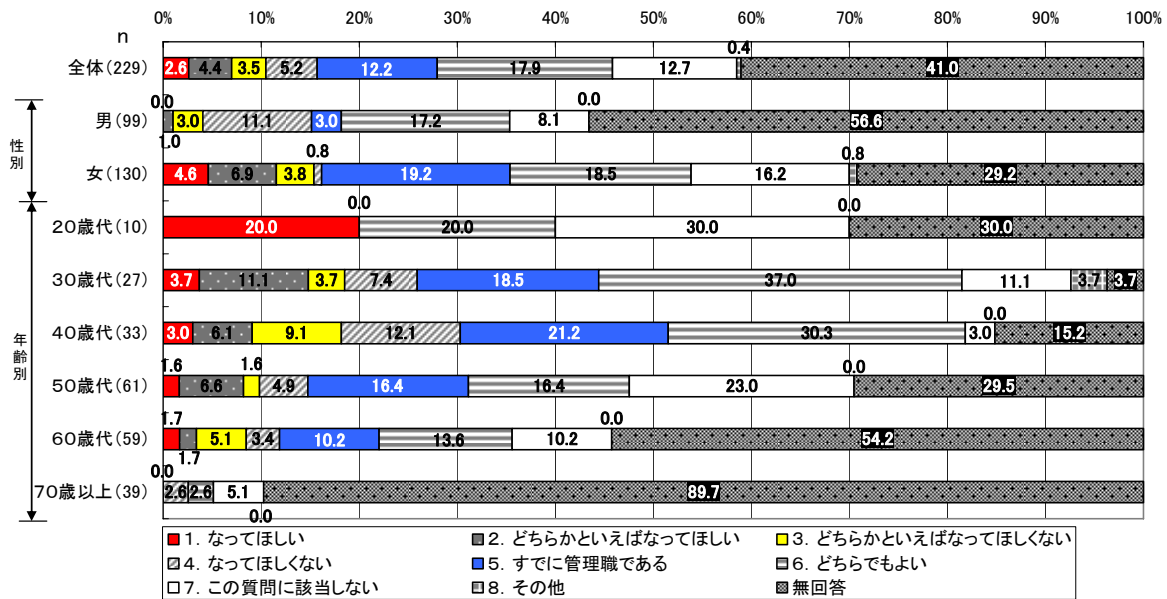


【年齢別】

20歳代は「管理職になることで難しい仕事や残業が増えるから」(66.7%)という理由が3分の2を占め最も多く、30歳代、40歳代、50歳代は「自分には管理職としての能力や素養がないと思うから」(52.9%、50.0%、61.5%)という理由が最も多くなっています。

4-5 配偶者の管理職への就任願望

問9. 結婚している方で、配偶者が現在働いている方のみお答えください。あなたは配偶者に管理職になってほしいと思いますか。(〇は1つ)



【全体】

「どちらでもよい」が17.9%と最も多くなっています。また、「なるべし」「どちらかといえばなるべし」を合わせると7.0%、「なるべし」「どちらかといえばなるべし」を合わせると8.7%となっており、配偶者に管理職になってほしいと思う方のほうがやや多くなっています。

【性別】

男女とも「どちらでもよい」が最も多くなっています。

また、「なるべし」「どちらかといえばなるべし」を合わせると、男性は1.0%、女性は11.5%で、「なるべし」「どちらかといえばなるべし」を合わせると、男性は14.1%、女性は4.6%となっています。

したがって、女性は夫に管理職になってほしいと思う方のほうが多くなっていますが、男性は妻に管理職になってほしくないと思う方のほうが多くなっています。

【年齢別】

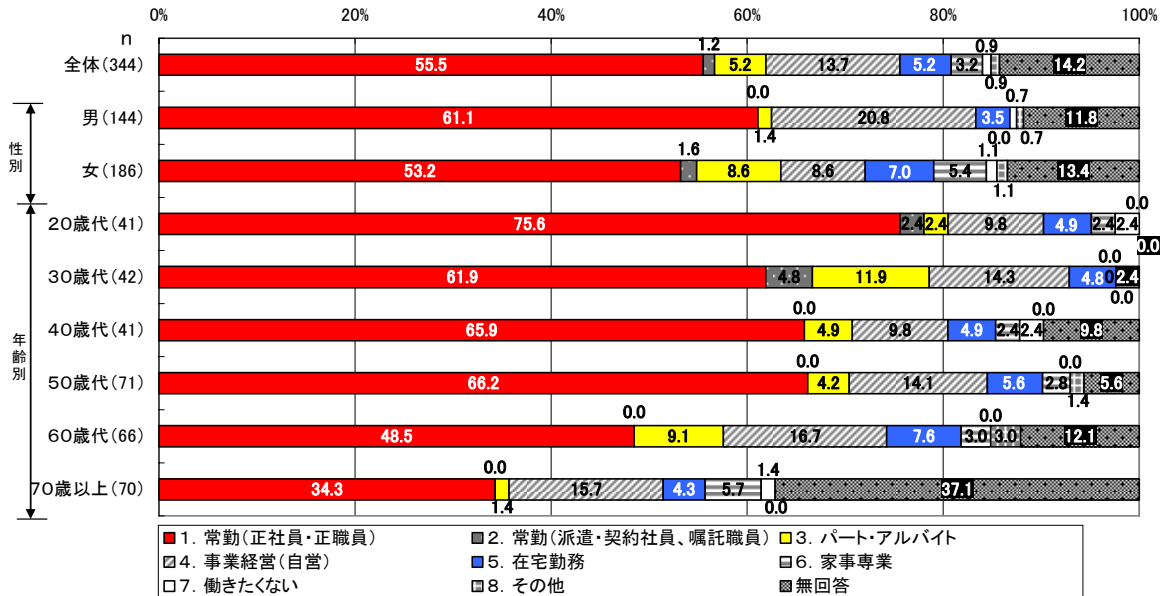
すべての年齢層において「どちらでもよい」が多くなっています。「どちらでもよい」

と回答した方は、特に 30 歳代 (37.0%) 及び 40 歳代 (30.3%) で多くなっています。

また、40 歳代においては「なっほしい」「どちらかといえはなっほしい」を合わせると 9.1%であるのに対し、「なっほしくない」「どちらかといえはなっほしくない」を合わせると 21.2%で、他の年齢層に比べて、そのポイント差が顕著になっています。

4-6 理想の働き方

問 10. あなたが考える理想の働き方は、次のどれに最も近いですか。(〇は1つ)



【全体】

「常勤（正社員・正職員）」が 55.5%と 5 割以上を占め最も多く、次いで「事業経営（自営）」(13.7%)、「パート・アルバイト」(5.2%)、「在宅勤務」(同)となっています。

【性別】

男性は「常勤（正社員・正職員）」が 61.1%と 6 割強を占め最も多く、次いで「事業経営（自営）」(20.8%) が多くなっています。

女性は、「常勤（正社員・正職員）」が 53.2%と 5 割以上を占め最も多く、次いで「パート・アルバイト」(8.6%)、「事業経営（自営）」(同)となっています。

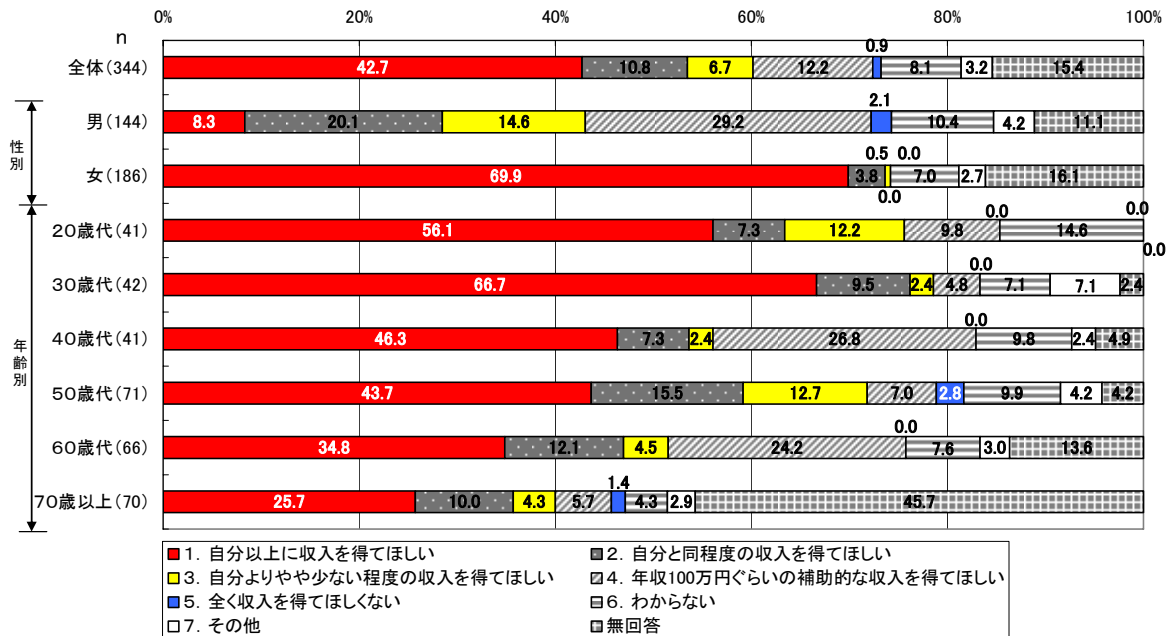
また、「家事専業」は、男性は 0.0%となっていますが、女性は 5.4%となっています。

【年齢別】

すべての年齢層において「常勤（正社員・正職員）」が最も多くなっていますが、特に 20 歳代では 75.6%と 4 分の 3 を占め他の年齢層に比べその割合が高くなっています。

4-7 配偶者に希望する収入

問 11. あなたは、配偶者にどれくらいの収入を得てほしいと思いますか。(未婚の方は結婚していると仮定してお答えください) (〇は1つ)



【全体】

「自分以上に収入を得てほしい」が42.7%と4割強を占め最も多く、次いで「年収100万円ぐらいの補助的な収入を得てほしい」(12.2%)、「自分と同程度の収入を得てほしい」(10.8%)となっています。

【性別】

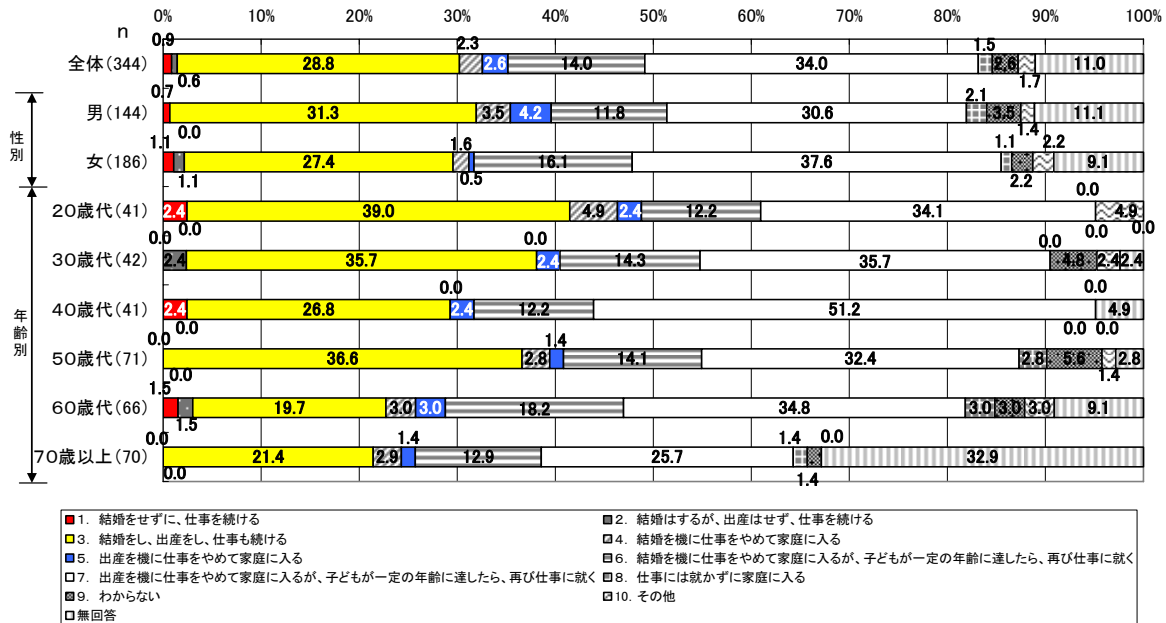
男性は妻に「年収100万円ぐらいの補助的な収入を得てほしい」(29.2%)と思っている方が最も多く、次いで「自分と同程度の収入を得てほしい」(20.1%)とされています。一方、女性は夫に「自分以上に収入を得てほしい」(69.9%)とされている方が7割を占め最も多くなっています。なお、「自分以上に収入を得てほしい」という回答について、男性は8.3%と少数にとどまっています。

【年齢別】

いずれの年齢層も配偶者に「自分以上に収入を得てほしい」と思っている方が最も多くなっています。なお、「自分以上に収入を得てほしい」という回答について、30歳代では66.7%と3分の2を占め最も多くなっています。

4-8 女性の仕事や結婚についての理想像

問 12. あなたがお考えになる「女性の仕事や結婚についての理想像」は、次のどれに最も近いですか。(〇は1つ)



【全体】

「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く」(34.0%)が最も多く、次いで「結婚をし、出産をし、仕事も続ける」(28.8%)と回答した方が多くなっています。

【性別】

男性は、「結婚をし、出産をし、仕事も続ける」(31.3%)が最も多く、次いで「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く」(30.6%)が多くなっています。

女性は、「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く」(37.6%)が最も多く、次いで「結婚をし、出産をし、仕事も続ける」(27.4%)が多くなっています。

【年齢別】

「結婚をし、出産をし、仕事も続ける」という回答を見ると、20歳代が39.0%と4割弱を占め最も多くなっているのに対し、60歳代では19.7%と2割弱にとどまっています。

したがって年齢層が低い世代のほうが、結婚や出産をしても仕事も続けることが望ましいと考えている方が多い傾向になっています。

また、「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く」という回答を見ると、40歳代が51.2%と5割強を占め最も多くなっています。